



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第24週報 No. 2134 2021年(令和3年)4月2日 第2134回 例会記録 4月9日発行

本日〈4月9日〉のプログラム

- ◆ 齊唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「コロナ渦の国内外経済と
金融マーケットについて」
I F A 証券投資アドバイザー 上原 孝志 様
(紹介者 加野 亮一 会員)



写真提供 小池 将夫

司 会 友添 辰哉 副幹事

会長報告 山本 芳弘 会長

・米山奨学会より、2021学年度米山奨学生 李受倫さんのカウンセラーを引き受けて下さった馬場佳子会員に委嘱状が届いておりますのでお渡し致します。

点 鐘 山本 芳弘 会長

齊 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 茂木 知子 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山 本 芳 弘	会 計	白 井 康 夫
会長エレクト	小 山 市 康	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	赤 堀 和 人	S A A	佐 藤 勝 彦
副 会 長	植 田 清 司	副 S A A	古 澤 一 憲
幹 事	田 口 健 太 郎	副 S A A	月 山 勇
副 幹 事	友 添 辰 哉	クラブ会報	池 田 広 樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・ RAC地区交流会の案内が来ておりますので回覧致します。
- ・ 次週、例会終了後に4月度定例理事会を開催致します。

誕生日祝

吉田 隆男 会員 (4月6日)



DV、児童虐待、はたまた若年者の望まない妊娠・中絶・出産といった問題も後を絶ちません。こういった問題に対する取り組みを紹介しております。

次に、縦組みの4ページから8ページにおきまして、オリンピックのカーリングの日本代表で一般社団法人ロコ・ソラーレ代表理事の本橋麻里さんのスピーチが掲載されております。スポーツを通じた町おこし、ひいては地方創生にまで言及されております。

会員の皆様には是非ご一読頂きたくお願い申し上げます。

出席報告

横溝 亘 出席委員長

会員総数	52名	(30+22)名	
出席会員数	43名	(25+18)名	
出席率	89.58%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	87.23%	前々回補正後	89.36%

入会記念日祝

山本 芳弘 会員 (4月2日)

清水 茂夫 会員 (4月5日)



スマイルボックス

佐藤 勝彦 SAA

吉田隆男君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。②先日は、河野副幹事、地区大会幹事 山田様はじめ、地区大会関係各位の皆様、お疲れ様でした。

清水茂夫君 入会祝い、ありがとうございます。

山本芳弘君 本日の卓話、山崎さん、楽しみにしております。

石川正三君 本日の卓話は山崎さんをお願いしました。ご清聴の程を。プログラム委員会 岡部・石川

山本 登君 花粉辛い！！

河野明光君 ①コロナ禍で、オリンピックの開催が心配です。

②山崎さんの本日の卓話、楽しみです。

矢野修二君 “しき島の やまごころを 人とわば 朝日におう 山桜花” 本日は都合により早退します。

伊東英紀君 誕生日祝いを頂き、ありがとうございます。

植田清司君 桜満開です。いいですね。

茂木知子さん ~仁丹は昭和のにおい~通販の安い香水をつけたら仁丹の匂いがする、と言われました。驚いたことに、平成生まれの子たちは「仁丹って何？」と知りませんでした。平成生まれの子が知っている仁丹の匂いは昭和のおじさんの匂いだそうです。幼稚園の頃、友達を送ってくる昭和のおじさんが仁丹と整髪料の匂いをさせていたそうです。仁丹とは、「昭和のおじさんが口臭予防に使っていた銀の粒のこと。昭和のおじさんたちは皆タバコを吸っていたのでタバコ臭かった」と説明しました。

赤堀和人君 河野さん、昨日はありがとうございます。北村さん、お疲れ様でした。

白井康夫君 誕生日祝いと結婚記念日祝いをありがとうございました。2月1日に52歳になりました。また、3月23日に19回目の結婚記念日となりました。

委員会報告

雑誌委員会 委員 白井 康夫

雑誌委員の白井です。雑誌委員会報告を行わせて頂きます。

「ロータリーの友」4月号におきまして、まず、横組みの7ページより13ページにわたり「日本の母子にできること」と題しまして、母子の健康に関する記事が紹介されております。世界的にもトップレベルで母子の健康が守られている我国ですが、一方で、マタニティハラスメントや産後うつ、ワンオペ育児や

桜木町駅前と新港地区を結ぶプロムナード
“汽車道”。

春休みの子供たちや散策の人たちが
満開の桜、そしてランドマークとの
景観を楽しんでいました。

【写真提供 小池 将夫 会員】



岡部雄一郎君 山崎さん、本日の卓話、よろしくお願ひします。
メダリストを何人育て上げたか教えてください。
加野亮一君 桜は散る頃が風流ですね！！
北村大輔君 今日から抽選会、楽しみですですね。

4月2日	15件	49,000円
本年度累計		1,399,870円
年度目標進捗状況		- 11%

勝つために道を拓く

山崎 善也 会員



来年、2022年冬季北京オリンピック代表候補 鍵山優真 フィギュアスケート世界選手権2位、六角橋中学校出身17歳、前人未到の4回転半のジャンプの可能性に世界が注目しております。

日頃、氷上練習には神奈川スケートリンクで期待通りのスケートティングをしていることが見受けられます。

鍵山優真の筋肉の組成は、速筋で並外れた速い回転速度のジャンプです。スポーツの運動能力と筋肉の速筋・遅筋との関わりは大きなものがあり、指導者は選手の筋肉の組成が速筋か遅筋を見極めることが肝要です。

私は、現役選手時代、自分の身体を知らなかったことと目標が低かったことへの反省から指導者として世界を目指し、世界で活躍する選手を育てたいとの固い決意を自他ともに表明した。

日本代表のチームリーダーとして日本選手が欧米の選手に伍して闘うことのできるには、初期遠征などの体験で周りが日本選手を見る青い目、欧米選手の体格など、日本選手が受けるプレッシャーを払拭するための方策など、余裕を持たせることができ、世界のトップ3などの結果を出せることが出来た。

監督にとって、高い目標を目指せる選手を育てることの大変さは尋常なことではありません。私自身、家庭や事業経営をも顧みる暇もない程でした。

長野オリンピックを目指した指導で金メダル獲得の成果達成に熱いものがあり、その予熱は今でも。

ロータリーニュース

2020-21年度会長エレクトの紹介



シェカール・メータ

Calcutta-Mahanagar RC 所属
インド（西ベンガル州）

会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長。カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクター。

災害救援に熱心に携わり、シェルターボックス（英国）の管理委員も務める。2004年のインド洋大津波の際には、被災した家族のために500戸近い家屋の建築を支援。

南アジアで1,500件以上の心臓外科手術を行ったプログラムを立ち上げる。インド全土での識字率向上をはかる「TEACHプログラム」の創設にもかかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供。

1984年にロータリークラブ入会。R I 理事、各種委員会の委員と委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任。ロータリー財団（インド）の理事長も務める。

超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。

ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

会長イニシアチブ

平等とは、平和で豊か、かつ持続可能な世界を築くために必要となる基本的人権です。しかし、世界を見ると、女兒と成人女性性は保健や教育などの分野で不平等に直面しており、男性よりも高い確率で暴力と貧困を経験しています。ロータリーは、女兒の健康、教育、福祉、経済的安定の向上に焦点を当てたプロジェクトを優先するよう、クラブと地区に奨励しています。生活改善のためのリソースを利用できるよう支援することで、女兒を守り、その地位向上を図り、公平さを高めるプロジェクトに地域社会の人びとが参加できるよう、クラブ主導の取り組みや、地区補助金とグローバル補助金を活用した取り組みを行いましょう。

R I 会長エレクトが2021-22年度の会長テーマを発表

人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カル Катター-マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オーランド（米国フロリダ州）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル（オンライン）で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。

そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である”という信条を持つようになりました」

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずですよ」

多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それ

を和らげるように導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」（みんなが一人を入会させよう）は、今後17カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」

2021-22年度テーマロゴ



ロータリーニュース

4 / 2 お楽しみ抽選会結果報告

景品：ホテル特製チーズケーキ

当選者：岡部雄一郎 会員
金森 欣一 会員
月山 勇 会員
森永 健 会員

次回〈4月16日〉の予定

例会演奏者によるプチコンサート